

2023年9月6日

スズキ、インドでのバイオガス実証事業について3者で合意

- 2025年以降4つのバイオガス生産プラントを設置 -



スズキ株式会社(以下、スズキ)は、インドのカーボンニュートラルの実現に貢献するバイオガス生産プラントの設置について、スズキ 100%出資の Suzuki R&D Center India Private Limited を通じて、National Dairy Development Board(全国酪農開発機構、以下 NDDB)およびアジア最大規模の乳業メーカーである Banas Dairy 社(本社:グジャラート州、以下 Banas Dairy)の3者間で合意いたしました。

本日インド大使館において、Banas Dairy のチョードリー会長、NDDB のシャア会長兼社長、スズキの鈴木社長により契約締結式が行われました。式典には、日本国駐筭インド共和国大使シビ・ジョージ閣下にご臨席賜り、歓迎と成功祈願のお言葉を頂戴しました。

スズキは2022年12月にNDDBとBanas Dairyの3者で、牛糞が発酵することで発生するバイオガスから自動車用燃料となるメタンを精製する実証事業開始に向けた覚書を締結し、検討を進めてまいりましたが、今後、グジャラート州バナスカンタ地域において、2025年より順次4つのバイオガス生産プラントを設置していきます。4プラント合計の投資額は23億ルピー(日本円で約40億円)を予定しております。また、各プラントにはバイオガス充填スタンドを併設し、インドでマルチ・スズキが7割以上のシェアを有するCNG仕様車の燃料として販売いたします。

鈴木社長は「スズキは、各国・各地域の情勢に適した方法で温室効果ガス削減に取り組んでおります。インドにおいても、削減効果の高いバイオガスに期待が寄せられており、バイオガス生産事業への積極的な取り組みを通じてカーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。」と述べています。

以上